

PRESS RELEASE

フィジー政府観光局、日本事務所を再開設

～今年7月の直行便運航再開を見据え、アビアレップス社に業務を委託～

南太平洋に浮かぶ世界屈指のリゾート、フィジー共和国の観光促進を展開するフィジー政府観光局（正式英語団体名：Tourism Fiji、CEO：マシュー・ストーケル）は本年1月4日より、日本における代表事務所業務を観光マーケティング会社、アビアレップス株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役&CEO：早瀬陽一）に委託しました。アビアレップス株式会社は、フィジー共和国の公式政府観光促進団体の日本事務所として、同国への観光需要を喚起すべく、旅行業界向けプロモーション、広報、デジタル・マーケティングなど、包括的なマーケティング活動を展開いたします。

年間合計75万人*の観光客を迎えるフィジー共和国は300以上の島々からなる諸島国家で、一年を通じてマリンスポーツや美しいビーチ、リゾートライフが楽しみ頂ける卓越した旅行デスティネーションです。本年7月からは、フィジー・エアウェイズによる成田～ナンディ間の直行便（週3便）の運航再開が決定しており、フィジーへのアクセスも格段に向上します。

「本年7月からの、フィジー・エアウェイズによる日本～フィジー間で直行便の開始を今から心待ちにしています。我々は、アビアレップスの有する専門的な観光マーケティング知識が、日本からの来島者の増加に貢献してくれると確信しています。日本の主要な旅行業界および報道関係のパートナーとのリレーションシップ、そして市場内での強固なプレゼンスを再構築すべく、今後アビアレップスと緊密に連携してまいります。直行便の就航に向け、日本市場において多様なプロモーションを企画しており、皆様に直接ご挨拶する機会も早々に設ける予定です」（フィジー政府観光局CEO マシュー・ストーケルのコメント）

「このたびフィジー政府観光局の日本事務所に任命され、大変光栄に思います。弊社の東京を基盤に活動するセールス・広報・デジタルチームは、旅行業界および報道関係者との緊密なネットワークを有しており、日本市場におけるフィジーの観光プロモーションを成功裡に導けると確信しております。常に最新のマーケティング手法を駆使し、日本人渡航客の増加に向けて、フィジーの認知度向上に努めてまいります」（アビアレップス本社 CEO エドガー・ラッカーのコメント）

フィジー政府観光局 日本事務所

住所： 〒160-0008 東京都新宿区三栄町26-3 インターナショナル・プレイス
アビアレップス株式会社内

電話： 03-6273-0212 ファクシミリ： 03-5363-1118

E-mail： fiji.japan@aviareps.com

フィジー政府観光局公式サイト（英語）： <https://www.fiji.travel/>

□ フィジー政府観光局について

世界各地からフィジー共和国への渡航喚起を目的に、現在世界8拠点にてマーケティング活動を展開している政府外郭団体。広告、広報、イベント、展示会、消費者キャンペーンなど、多岐にわたる観光プロモーション活動を通じて、300もの島からなるフィジー共和国の魅力を発信している。

□ アビアレップス株式会社について

1994年にマイケル・ゲーブラー（現：取締役会長）によってドイツ・ミュンヘンにて創設された、航空・観光マーケティング分野におけるリーディング・カンパニーの日本支社。47か国63事務所のネットワークを擁し、現在、世界90以上の顧客に対し、総販売代理店業務(GSA)、観光プロモーション業務、広報、広告、ITソリューション、金融サービス、空港マーケティング業務などの広範なサービスを提供している。

～ 当リリースに関するお問い合わせ先 ～

フィジー政府観光局 日本事務所 担当：岡田

TEL: 03-6273-0212 / FAX: 03-5363-1118

E-mail: fiji.japan@aviareps.com